母乳育児およびチェストフィーディングを行う人々の権利章典

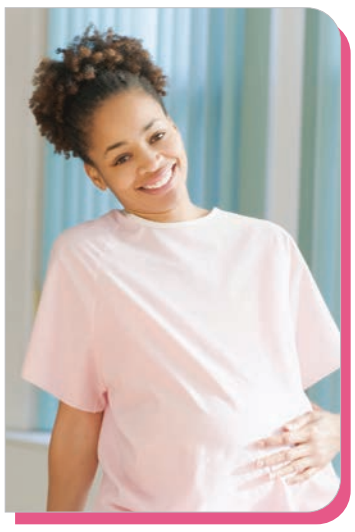
出産に備える際、新しい赤ちゃんにどのように授乳するかを選ぶことは、人々が直面する多くの重要な決断の一つです。医療提供者は、ほとんどの人にとって母乳育児/チェストフィーディングが最も安全で健康的な選択であると認めています。

あなたには次の権利があります：

- 母乳育児/チェストフィーディングについて、自分自身で選択する権利
- 母乳育児/チェストフィーディングの利点について情報を得る権利
- 医療チームおよび育児・保育提供者から支援を受ける権利

母乳育児/チェストフィーディングを選択するかどうかにかかわらず、あなたには本資料に記載されている権利があります。これらの権利は、あなたの支払い方法や以下の事項にかかわらず適用されます：年齢、人種/肌の色；市民権または移民ステータス、出身国、信条/宗教；障がい、妊娠に関連する状態；DV（家庭内暴力）の被害者であるかどうか；ジェンダー・アイデンティティまたは表現、性別、性的指向；婚姻状況、家族状況（既婚、未婚、妊娠中、子どもがいる等）；軍務経験の有無；逮捕歴の有無。

出産を行う病院および出産施設は、これらの権利を明確に説明し、必要に応じて通訳を提供する責任があります。これらの権利は、あなたまたは赤ちゃんの健康上の理由がある場合に限り制限されることがあります。また、以下のいずれかの権利が医学的に適切でない場合には、その事実について十分な説明を受ける必要があります。そのうえで、選択肢についてあなたの意見を求められるべきです。



出産前

ニューヨーク州アーティクル28の産前ケア提供者が実施する出産前クラスに参加する場合、あなたはこの権利章典（Bill of Rights）を受け取らなければなりません。提供者には、分娩病院、バースセンター、病院のクリニック、診断・治療センターが含まれます。

事前予約または入院時に、分娩病院およびバースセンターは、患者本人またはその代理人に対して2つの文書を提供しなければなりません。1つはこの権利章典、もう1つは母性に関する情報パンフレットです。個人代理人とは、患者が自分の代わりに行動したり発言したりするよう選んだ人のことです。

あなたには、自分自身と赤ちゃんのために母乳育児/チェストフィーディングの利点について完全な情報を受け取り、十分な情報に基づいて授乳方法を選択する権利があります。

あなたには、商業的な利益に左右されない情報を受け取り、以下を含む内容が提供される権利があります：

- 母乳育児/チェストフィーディングが、栄養面・医学面・感情面において、あなたと赤ちゃんにどのように役立つかについて知ること
- 母乳育児/チェストフィーディングの準備方法を知ること
- 起こりうる問題とその解決方法を理解すること

分娩病院またはバースセンターにいる間、あなたには以下の権利があります：

- 経膣分娩または帝王切開（Cセクション）にかかわらず、出産直後から赤ちゃんを自分のそばに置くこと
- 24時間いつでも赤ちゃんを同室にすること
- 出産後1時間以内に母乳育児/チェストフィーディングを開始すること
- 新生児集中治療室（NICU）にいる赤ちゃんにも母乳育児/チェストフィーディングを行うこと
    - o 直接授乳ができない場合は、搾乳した母乳を赤ちゃんが確実に受け取れるよう最大限の努力がなされること
- 昼夜を問わずいつでも母乳育児／チェストフィーディングを行うこと

支援または情報を得る際には、あなたには以下の権利があります：

- 母乳育児/チェストフィーディング支援について訓練を受けた人から支援を受ける権利
- 赤ちゃんに特別なケアが必要な場合、専門的に訓練された支援者からサポートを受ける権利
- 母乳育児/チェストフィーディングの状況について十分な情報を受け取り、改善方法について助言を受ける権利
- 母乳の分泌量に影響を与える可能性のある薬について説明を受け、それを拒否する権利
- 授乳の決定を行う前に、医療提供者または小児科医が母乳育児/チェストフィーディングに反対しているかどうかを知る権利
- 希望する場合、家族や友人がスタッフから母乳育児／チェストフィーディングの情報を受け取るようにできる権利

あなたにはまた、以下の権利もあります：

- 赤ちゃんに哺乳瓶やおしゃぶりを使用させないようにする権利
- 赤ちゃんのベビーベッドに母乳育児/チェストフィーディング中であり、哺乳瓶・おしゃぶり・人工乳首を与えない旨を明示する表示をする権利

  注意:出産後の入院期間のあとに、あなたまたは赤ちゃんが再入院した場合、病院は以下を行います：
    - 母乳育児/チェストフィーディングの継続支援に最大限努めること
    - 病院用電動搾乳器や母子同室の環境を提供すること

分娩病院またはバースセンターを退院する際には、あなたには以下の権利があります：

- 商業的内容を含まない、印刷またはデジタル（オンライン）の母乳育児/チェストフィーディング情報を受け取ること
- 乳児用ミルクのサンプル、クーポン、ギフトなどを含む退院パックを受け取らずに退院することただし、あなたが特に希望した場合で、施設にその物品がある場合は例外
    - o 医師（小児科医）の指示がある場合は受け取ることができる
- 地域の母乳育児/チェストフィーディング支援資源（専門家、支援グループ、搾乳器の利用可能性など）の情報を得ること
- 施設から、あなたが赤ちゃんの医療提供者を選ぶための情報を受け取る権利があります。赤ちゃんの医療提供者の選び方について情報提供を受け、フォローアップ受診の重要性について理解できるよう支援を受けること
- 母乳（チェストミルク）の安全な搾乳・保存方法について情報を受け取ること

赤ちゃんへの授乳の際には、あなたには以下の権利があります：

- 公共・私的を問わず、立ち入りが許可されている場所であればどこでも母乳育児／チェストフィーディングを行う権利があります。これはニューヨーク州公民権法（Civil Rights Law）第79-e条における母乳育児の権利保護によるものです。
    - o この権利の侵害は、ニューヨーク州人権法（Human Rights Law）の下で差別とみなされる可能性があり、特に性別および家族状況（既婚・未婚、妊娠中、子どもがいることなど）に基づくものとして扱われることがあります。
- 職場または保育施設において、母乳育児/チェストフィーディングを行う権利職場や保育施設の環境は、母乳育児/チェストフィーディングや母乳（チェストミルク）の提供を妨げたり、控えさせたりするものであってはなりません。
- 出産後最大3年間、労働法（Labor Law）第206-c条に基づき、職場で母乳を搾るための30分の有給休憩を受ける権利この休憩は、既存の有給休憩や食事時間とは別に与えられます。搾乳に30分以上必要な場合は、他の休憩時間を利用することができます。
    - o 雇用主は、あなたが合理的に必要とする場合には、そのニーズに応えるための合理的な配慮を行わなければなりません。また、雇用主は母乳を搾乳できるためのプライベートな場所を提供しなければなりません。
    - o 雇用主は、職場で搾乳するというあなたの選択を理由に差別してはなりません。
    - o 雇用主がこれらの要件を遵守しない場合、2つの法律のいずれかに違反している可能性があります。これらの法律は、職場において性別、妊娠に関連する状態、および障がいに基づく差別から労働者を保護するものです。これらはニューヨーク州労働法（Labor Law）およびニューヨーク州人権法（Human Rights Law）です。

これらはあなたの権利です。

権利が侵害されたと感じた場合：

分娩病院またはバースセンターがこれらの権利を守らない場合は、ニューヨーク州保健局（Department of Health）に連絡して支援を求めることができます。

苦情を提出するには：電子メール：promotebreastfeeding@health.ny.gov

雇用主がこれらの権利を守らない場合は、ニューヨーク州労働局（Department of Labor）の労働基準部（Division of Labor Standards）に連絡して支援を求めることができます。

苦情を提出するには：電話：1-888-52-LABOR (1-888-52-52267)
電子メール：LSAsk@labor.ny.gov
訪問：on.ny.gov/breastmilkexpression

公民権に関する苦情は、ニューヨーク州人権局（Division of Human Rights）に申し立てるか、裁判所に提起することができます。

差別を報告するには：
電話：1-844-NYS-DHR1 (1-844-697-3471)
訪問：dhr.ny.gov/complaint

NEW YORK STATE | Department of Health